

障がい者等の現状と課題

【身体障害者手帳（内部障がい）取得者への聞き取り調査結果：報告】

女性 60代 身体障害者手帳（4級） 心臓疾患（ペースメーカー）

- ・ペースメーカーを入れているが日常生活を平穩に暮らしている。

男性 60代 身体障害者手帳（4級） 心臓疾患（ペースメーカー）

- ・金銭的な面では、身体障害者手帳の等級が1級から4級に代わった。さいたま市の日赤病院に通院し定期的な検査及び診察に行っているが、負担額が増えた。
- ・ガソリン券も身体障害者手帳の等級が1級から4級に代わったことから利用できなくなった。
- ・日常生活では、家族の理解もあることから問題はない。
- ・親の介護もしていることから体力的に不安はあるが、自覚症状はない。
- ・カテーテルアブレーション（※1）をし、そこそこの正常値はでているが、医師から「不整脈が無くなることはないと言われている。」
- ・体調は変わっていないのに手帳の等級が変わったことから費用負担が増えたことが不安材料。

※1 その異常な回路や異常な部分に対して、カテーテルを用いて焼灼又は冷凍凝固を行い、不整脈を抑える治療。

男性 60代 身体障害者手帳（4級） 直腸機能（ストマ装具）

- ・日常生活についてはどうにか生活している。
- ・ストマ装具着用後、宿泊を伴う外出は控えている。
- ・市内のトイレ設備においてもあまり困っていない。トイレがあれば問題ない。

男性 60代 身体障害者手帳（4級） 直腸機能（ストマ装具）

- ・ストマを装具することで困ることある。お腹のガスがお店で会計している時などに排出されてしまう。
- ・軟便のときも大変だが、仕方がないと言えば仕方がない。
- ・それ以外で日常生活において困っていることはない。ストマ装具を付けて丸十年が経過し慣れてしまった部分もある。

男性 60代 身体障害者手帳（1級） じん臓機能障害（人工透析）

- ・人工透析に週3回通っている。
- ・日常生活にも一定の制限がある。

男性 40代 身体障害者（1級）上肢3級、下肢2級（筋ジストロフィー症による）

- ・電動車いすを使用している。
- ・自分でできないことが多い。
- ・交通面では秩父線はほぼ無人駅で自身では乗れないが、前もって秩父鉄道に連絡をしておくに対応してもらえる。（ワンマンだがスロープを用意してもらえれば乗れる。）しかし、急な対応など、気分で出かけた時などは、羽生駅や熊谷駅は対応してもらえるが、無人駅だと難しい。
- ・電動車いすを使用しているが、飲食店で困ったことはあまりない。周囲の協力は得られている。
- ・生活をしていて市内の歩道が狭い。歩道が狭いため時々車道の隅を電動車いすで走行することがある。
- ・歩道と歩道の切れ目が急になっているところがあり怖い。
- ・買い物をしている時は、知らない人でも物を取ってくれたり手伝ってくれる。
- ・飲食店でもテーブルの高さを調整する必要がある。
- ・医療機関でも問題なく対応してもらえる。
- ・「出来ないことで落ち込まない」「人の出来ないを受け入れる」など、笑顔で助け合えればいい。そんな社会になってほしい。